

第2回グラウンドワークフォーラム 2019

楽しめる川づくり

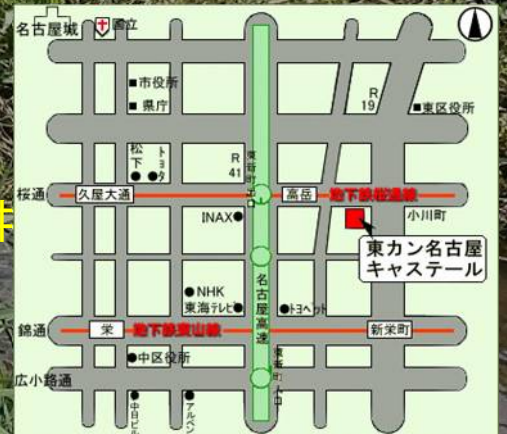
日時：2020年3月7日(土)

13:30~16:30

会場：東カン名古屋キャステール2階中
(名古屋市東区東桜2-3-7)

参加費：無料

主催：NPO 法人グラウンドワーク東海



〒461-0005

愛知県名古屋市東区東桜2-3-7-616

FAX:052-935-7430

Mail: npo.gw-tokai@ab.auone-net.jp



ゲストスピーカー

(一社) Clear Water Project 代表

瀬川 貴之 氏

申 込 書

年 月 日

氏 名 _____

連絡先 _____

注) 申込は、2020年2月20日(木)までに FAX(052-935-7430)又は E-Mail:npo.gw-tokai@ab.auone-net.jp へ
お願いします。

開催趣旨

私たちにとって川とは？

川、河川はこの百年で、洪水防止のためにコンクリート護岸が大半を占めるようになった。農村の小川も生産視点で整備され、用排分離・用水路の管路化も進んだ。1990年代以降、多自然工法、近自然工法が導入され、親水施設も整備されるようになった。2000年代に入ると、整備に当たって環境配慮視点も加わったが、何か満たされない気持ちが残る。

この1月11・12日、名古屋国際会議場で「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかキックオフイベント「あいち・なごや生物多様性EXPO」が開催された。グラウンドワーク東海は、養殖・放流に頼らず蛍の住める環境作りで見事ゲンジボタルの再生に成果を上げる内山川ほたるを守る会の活動をブースで紹介した。主役は地域住民、これに行政や企業がパートナーシップでもって協力し取り組むグラウンドワーク手法がしっかりと活かされての成果である。

そうか。地域住民と川の暮らしの中での関わり、これが見逃されているのではないか。今回のフォーラムは、影を薄くしてしまったこの視点を取り戻しながら、私たちにとって川とは？を問いかけることにした。切り口は「楽しめる川づくり」。これをテーマに、「子供達が目を輝かせ飛び込んでいくような川、海、湖を未来の世代に」をキャッチフレーズに、楽しい川づくり、水辺での活動にチャレンジされている（一社）Clear Water Projectの代表理事瀬川貴之さんを招いて、魅力ある内容を作り上げようとする企画である。是非ご参加いただき、一緒に考える機会にしましょう。

※申し訳ありませんが会場の制約で満席になり次第、募集を打ち切らせていただきますのでご了承ください。